

公民館 通信

No.321
2025.10 発行

たのしいまち

編集：たのしいまち編集委員

発行：多摩市立永山公民館 ☎206-0025 多摩市永山 1-5 ☎042(337)6661 FAX042(337)6003

多摩市立関戸公民館 ☎206-0011 多摩市関戸 4-72 ☎042(374)9711 FAX042(339)0491

ひと♡ネットワーク

入れたての
スペシャルティコーヒーを
召し上がれ



「街のバリスタ」 高橋 優子さん

志賀 絵理子さん

橋満 望さん

コーヒーの香りで幸せ気分。表情が緩み、いつしかニコニコ、会話も弾む。そんな空間を作りたいと公民館講座『街でバリスタ はじめの一步』を受講した。その仲間8人でチーム『街のバリスタ』を組み、『VITA ふれあいまつり』や『せいせき桜まつり』『小野神社 盆踊り』などで腕前を披露し、おしゃべりの場を提供してきた。会話を楽しみ、交流を深める、そんなコーヒー屋さんとして出会いやつながりを楽しんでいる。

8人の仲間は男女の別なく多世代。本当にばらばらの個性の集まり。コーヒーが好き！ おしゃべりが好き！！ その2つを共通点とする、地域のつながりを願う熱い仲間だ。一ノ宮にお住いの高橋さん。次女を亡くし絶望に打ちひしがれていた当時、助けてくれたのは「児童館つながりのママたち」。2児の母となった今、「恩返しをしたい」と児童館職員を経て『タッチ育児アドバイザ

ー』になった。産後ケアやベビーマッサージをしながら、孤立させない子育てを目指す。お菓子業界で従事してきた志賀さん。緑とお菓子とコーヒーが大好きだ。「喜びの場にお菓子がある」と言い、つらい時も「お菓子を取り寄せて乗り切っている」と笑う。唐木田にお住いの橋満さん。出産後は一人悩み、温かい居場所が欲しかった。現在訪問ヘルパーとして、利用者に笑顔で寄り添う。寡黙な父の夢が「夫婦で喫茶店」。亡くなった今も、「家族との思い出の中にコーヒー」がある。

公民館講座では、基本的なコーヒーの知識についてバリスタチャンピオン尾籠氏に学び、繰り返し練習を重ねた。カフェ文化研究家飯田氏には、地域コミュニティの大切さやバリスタの意義を学んだ。さて、次は私たちの出番。おいしいスペシャルティコーヒーと笑顔をご用意します。地域行事でお会いするのを楽しみにしています 😊

2025年1月・2月開催

公民館主催「街でバリスタ はじめの一步」をメンバーのレポートでご紹介！

バリスタチャンピオンにコーヒーを教わろう！



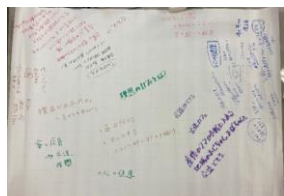
講師：尾籠一誠氏
珈琲屋黒子店主

基本的なコーヒーの知識についてバリスタチャンピオン尾籠さんから学び、プロのレシピに沿って練習を重ねました。コーヒーの奥深さにふれ、夢中に。



2025 1.18(土) 18:00～20:00 バリスタチャンピオンにコーヒーを教わろう！(※ 4歳～18歳)
1.25(土) 18:00～20:00 街とカフェとバリスタと～カフェ文化&パブリックライフ研究家と考える～
1.26(日) 14:00～16:00 街とカフェとバリスタと～カフェ文化&パブリックライフ研究家と考える～
2. 2(日) 9:00～11:00 作戦会議&自主練習
2. 9(日) 9:00～17:00 発表&振り返り(コーヒースタンドオープン！)
※珈琲屋黒子、関戸公民館ギャラリー・市民ロビー館
対象 本講座は12歳以上の児童・生徒が参加できる。12歳未満の児童・生徒は保護者の同伴が必要。
申込 期間：12月9日～12月23日 17:00
場所：関戸公民館(12月9日～12月23日は01コートから)
12月24日に申込書と参加費をメールで通知
参加費 1,000円(1.18(土)に集客)
問合せ 関戸公民館 ☎042-374-9711
※申込フォーム

街とカフェとバリスタと ～カフェ文化&パブリックライフ研究家と考える～



講師：飯田美樹氏
カフェ文化、
パブリック・ライフ研究家

作戦会議&自主練習



カフェ文化研究者飯田さんとメンバーと一緒に、人が集うカフェにはどのような役割や効果があるのか考えました。ヨーロッパのカフェも参考に！

☕ ドリップの練習を重ねつつ、講座に参加♪

講座「街でバリスタはじめの一步」で出会った年齢も仕事も得意も違う、大学生を含めた男性2人、女性6人でコーヒークラブ「街のバリスタ」を始めました。8人の共通点は地域コミュニティに興味があること、そして人とコーヒーが好きなこと。楽しい仲間ができました！



活動の芽

公民館では、中学生・高校生の職場体験、大学生のインターンシップの受け入れをしています。

嬉しいことに、数年前の職場体験生が公民館の部屋を使いたいと問い合わせをくれたことがありました。窓口業務・事業運営などでお見かけの際は、どうぞよろしくお願いいたします。

☆☆公民館に足を運ぶのは初めてでした。業務に手間取っていた時、市民の方や公民館の方が優しく声をかけてくださったことが印象に残っています。

ー多摩大学 3 年インターンシップ生

昭和 100 年公民館事業



忘れられない歌、失恋の時に聴いた歌、落ち込んでいた時に元気をもらった歌、もう一度聞きたいけれどプレーヤーがない……
そんな曲を公民館のホールで聴いて思い出にひたりませんか？

まいにち まいにち
ほくらは Teppan の
上で焼かれて…♪

ご自宅に眠っている思い出のレコード盤ありませんか？
あなたの思い出をホールで聴いてあの日、あの時の素敵な思い出を振り返りませんか？

♪永山編 @永山公民館ベルブホール……………

「昭和歌謡を公民館ホールで聴く ～昭和の思い出レコード鑑賞サロン」

(鑑賞機器協力:ティアック株式会社) ※多摩市内にある音響機器メーカー。
公民館にないレコードプレーヤー等、全面的にご協力いただきます。

<永山編応募 QR コード>

思い出の昭和歌謡のレコード(盤)をお持ちですか。エピソードとともに、ご応募ください。

募集期間: 令和7年12月28日17時まで

ご応募多数の場合、抽選等で選曲させていただきます。

鑑 賞 日: ①1月30日(金) ②2月26日(木) ③3月20日(金) いずれも 13 時～15 時

エピソードをご披露させていただき、レコードを鑑賞します。

※ご応募後、できましたら事前にレコードを公民館までお持ちください。

応募方法: 公民館所定の応募用紙、または右上の QR コードから。

応募内容: 曲名(レコードの中の聴きたい曲)・氏名・連絡先・お住まいの地域

曲の思い出エピソード(100 字～)・①～③の希望鑑賞日

※詳細は、たま広報10月20日号もしくは、永山公民館(337-6661)まで



♪関戸編 @関戸公民館ヴィータホール……………



「JAZZレコードを公民館ホールで聴く

～みんなに聴いて欲しいこの1曲、この思い～JAZZ喫茶VITA(ヴィータ)へようこそ」

(協力:ジャズ鑑賞会 マイルス)

かつてあまたあったジャズ喫茶。飲食は提供できませんが、あの頃を思い出し、公民館のホールでジャズレコードを聴いてみませんか。あのアーティストのこの曲を、という方はぜひレコード持参でご応募ください。鑑賞のみの方も大歓迎。同じ趣味を持つ者同士、集いましょう！



令和 8 年 1 月 12 日(祝) 13 時～15 時

詳しくは11月5日号の広報をご覧ください！



永山フェス開催! 永山の楽ちゃん

コラム え・と・せ・と・ら

JICA 青年海外協力隊員として太平洋に浮かぶ小さな島国・パラオへ派遣されて2年。任期が終わり日本に帰国したものの、早速夏休みを使ってパラオへ遊びに行ってしまった。今回は番外編として、夏休みに初めて参加したパラオの伝統行事についてお伝えしたい。

パラオでは、第一子が産まれたときに「オモンガット」と呼ばれる儀式を行う。英語で言うところの「ベビーシャワー」。産後、赤ちゃんを産んだばかりのママの身体を労り、出産をお祝いするためのイベントである。

まずスチーム（蒸気）で産後のママの身体を温めるとともに、薬草を塗って身体をケア。それを毎日繰り返すこと約1週間。そのスチームの最終日を盛大にお祝いするのが「オモンガット」の儀式だ。

集まるのは両家つながりの親族数百名!! グルメなパラオ人のためにたくさんのご馳走が用意され、いよいよオモンガットが始まる。この儀式が始まると、ママはパラオ伝統衣装に身を包み、会場のお客様にお披露目をする。驚くのは、この儀式の間、直立不動でお披露目ポーズを保つこと。炎天下でも土砂降りでも、1~2時間ずっと腕を組んで直立不動…なかなか過酷である。

お祈りで儀式が終わった後は、パラオ人の大好きなパーティだ!! ミュージックが鳴り続く中、好きな歌が流れると1ドル札片手にお客様はダンスを始め、その1ドル札はおひねりとして歌い手へ。そして、全員が満足するまでパーティは何時間も延々と続くのである…。

パラオ独特の儀式オモンガットに参加してみて、産後のママのケアをするはずが、ママを疲れ果てさせているのでは?!と感じてしまった。と同時に、両家合わせて数百名が集うこのイベントに、パラオ人の絆の強さと「この赤ちゃんを親戚全員で育てていく!」という強い意志を感じ、パラオが日本の約2倍の出生率をもつことに納得したのであった。（ニーチェ）



編集後記



☆4日連続、西城秀樹のフィルムコンサート♪ 球場の空からゴンドラで現れる（実は高所恐怖症!）何十曲も絶唱して、アリーナ駆け巡って水かぶって（実は雨男!）ぶっ倒れながら歌うラストの名曲で、なぜあれだけの声量が出るのだ? やはり天才だ!

☆先日、雲間から夕陽があたり、絵画のように芸術的になった空を眺めていたら、戦争時、遠くの空が夕焼けのように赤く染まり、子どもながらにきれいと眺めたという話を思い出し、複雑な気持ちになった。

☆稲城梨を食べると、秋モード。秋はTAMA映画フォーラムで映画三昧。あぁいい季節。

☆東京世界陸上が終わった。5年前の東京オリンピックが無観客だっただけに、国立競技場の熱気に胸が熱くなった。TVの前で、世界中の健康と平和を祈りつつ声援を送った。（月）

カラー版・過去号はこちらから

